

🌐 「英語が“日常”になる学校」—ALT が“副担任”の国際探求学科の挑戦！

本校の国際探求学科では、今年度から新たな取り組みとして、各学年に ALT(外国語指導助手)を副担任として配置しています。これは全国的に見てもまだ珍しい取り組みで、生徒たちにとって大きな変化をもたらしています。

ALT が副担任として日常的に関わることで、授業の中だけでなく、清掃の時間や LHR、行事の場面でも英語に触れる機会が増えました。たとえば、毎日の SHR(ショートホームルーム)では、「ALT タイム」として、英語での小話や国内外のニュースの紹介を行っています。これにより、生徒たちは自然と英語を「聞く・話す」ことに触れ、英語が特別なものではなく、日常の一部になっています。

生徒たちからは、「英語を話すのが楽しくなった」「ALT の先生と話すのが毎日の楽しみ」という声が多く聞かれます。一方で ALT にとっても、生徒と深く関わることでやりがいを感じ、より積極的に教育に関わってくれるようになりました。互いにとって、非常に良い相乗効果が生まれていると感じています。

また、ALT が担任とは違う視点で生徒の個性や悩みに気づいてくれることもあり、生徒一人ひとりをより丁寧にサポートできる体制が整ってきました。

英語がコミュニケーションの手段として生きる環境。それが、私たちの国際探求学科の大きな魅力です。

国際社会で活躍したい、英語をもっと身近に感じたい、そんな中学生の皆さんには、ぜひこの環境で学んでいただきたいと思います。



Ray(遠足)

Caitlyn(遠足)



Joey
(2者面談)



副担任(ALT)の小話
の様子.mov



Click



国際探求学科専門
科目(D.D.I)の様子



Click